

■平成24年度第2回「災害時の事業継続力（建設業BCP）」の受付開始について  
【企画部防災課】

四国建設業BCP等審査会（会長：徳島大学大学院教授中野晋）は、建設会社における災害時の事業継続力の認定申込を12月3日から「新規」及び「継続更新」として受け付けます。

○認定申込期間

平成24年12月3日9時から平成24年12月17日17時まで  
（土日、祝祭日を除く）

○認定対象となる建設会社

四国地方整備局における平成23・24年度一般競争参加資格の内、「一般土木工事」の「C等級」に認定されている四国内に本社を有する建設会社。

ただし、既に「災害時の基礎的な事業継続力を備えている建設会社」として認定証の交付を受けている建設会社の継続更新については、全て認定審査の対象とします。

○「災害時の事業継続力認定審査要領

平成24年度第2回認定（平成24年12月申込用）」の受け取り方法  
四国地方整備局ホームページから取得出来ます

（ホームページアドレス<http://www.skr.mlit.go.jp/bosai/bcp/index.html>）

■国営讃岐まんのう公園「ウィンターファンタジー」開催

【香川河川国道事務所 公園課】

国営讃岐まんのう公園では、11月23日（金・祝）から来年1月3日（木）までの期間、開園時間を20時まで延長し「ウィンターファンタジー」を開催します。

昨年は過去最多の6万8千人の来園者があり、冬の一大イベントとなりました。今年はLED電球を5万球追加し、四国最大級の50万球のきらめくイルミネーションが園内を幻想的に彩ります。

エントランス広場では、高さ約10mの‘シンボルツリー’や、子どもたちに人気の‘ドラ夢トピアリー’がお出迎えします。また、風花の庭や芝生広場では、約5,000m<sup>2</sup>の広大な大地にきらめくグランドイルミネーションが広がり、昇竜の滝の上では、四国最大級の地上高さ5mの‘シャンパングラスタワー’がそびえ立ちます。

さらに、エントランス広場からサイクリングセンターへ向かう園路では、長さ約1000mの‘光のトンネル’が来園者を光の世界へと誘います。

イルミネーションのほかにも、12/8（土）、12/15（土）、12/22（土）

には音楽に合わせて花火が打ち上がる花火ショーや、週末には特別ピザ教室などの各種体験イベントも開催します。

期間中、12/8(土)、12/15(土)～12/17(月)、12/19(水)～12/25(火)には開園時間が21時まで延長されます。皆様、ぜひ国営讃岐まんのう公園の「ウィンターファンタジー」へ足をお運びください。

詳細につきましては、国営讃岐まんのう公園ホームページ（<http://www.mannoukouen.go.jp/>）

又は、まんのう公園管理センター（0877-79-1700）までお問い合わせください。

#### ■平成24年度 国土交通省国土技術研究会について

【企画部企画課】

10月25日・26日の2日間、国土交通省中央合同庁舎2号館において、国土交通省所管の社会資本整備行政に係る技術課題等について本省・地方整備局・北海道開発局・地方航空局、試験研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い議論を重ねることにより技術の向上と行政への反映を図ることを目的として、「平成24年度国土交通省国土技術研究会」が開催されました。

研究会では、各地方整備局をはじめ、(独)土木研究所、(独)建築研究所、(独)港湾空港技術研究所、(独)水資源機構などから推薦を受けた自由課題75課題（イノベーション部門21課題、アカウントビリティ部門10課題、一般部門33課題、建設技術研究開発助成成果発表11課題）と建設技術研究開発助成制度研究進捗報告発表10課題、指定課題6課題及びポスターセッション17課題の発表がありました。

四国地方整備局からは、自由課題として「平成24年度四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」において推薦を受けた5課題と震災対応特別課題を発表しました。

研究会の全体の流れは、1日目に一般部門、建設技術研究開発助成成果発表及びイノベーション部門、2日目の午前アカウントビリティ部門、指定課題、建設技術研究開発助成制度研究進捗報告発表、2日目の午後に主催者挨拶、特別講演、震災対応特別課題、表彰式が行われました。また、それらと並行して1日目と2日目の午前中にポスターセッションが行われました。

具体的には、一般部門とイノベーション部門は、「平成24年度四国地方整備局管内技術・業務研究発表会」と同様にパワーポイント等を使用した13分の発表の後、質疑応答が行われました。アカウントビリティ部門は、パワーポイント等は使用せず口頭のみ個別発表を行った後、審査委員と発表者間でグループディスカッションが行われました。

特別講演は関西大学社会安全学部の河田恵昭教授から「東日本大震災を教訓とした今後の国土づくりについて」と題して行われました。

また、震災対応特別課題では、「東日本大震災における国土交通省の復旧・復興への取組状況と全国防災の在り方について」と題してパネリストである水管理・国土保全局河川計画課長、道路局国道・防災課長、港湾局技術企画課長、東北地方整備局企画部企画調整官、関東地方整備局企画部長、中部地方整備局企画部長、そして当四国地方整備局宮本正司総括防災調整官の7名からの発表が行われた後、河田恵昭教授によるコーディネーターのもとパネルディスカッションが行われました。

最後の表彰式では最優秀賞と優秀賞の発表と表彰が行われ、四国地方整備局推薦課題からはイノベーション部門の岡田克寛さんとアカウンタビリティ部門の豊後彰彦さんが優秀賞を受賞されました。

「平成24年度国土交通省国土技術研究会」の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

#### ■『四国のみなと特別講演会』の開催について 【港湾空港部 港湾事業企画課】

11月8日（木）、高松サンポート合同庁舎低層棟2階アイホールにおいて、国土交通省四国地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所、独立行政法人港湾空港技術研究所が主催する『四国のみなと特別講演会』を開催し、一般、業界、自治体等から155名が参加しました。

本講演会は、内閣府から公表された南海トラフの巨大地震による津波高さ等により、益々関心が高まってきている地震・津波に対応するための最新の研究及び技術開発について、行政機関はもとより、広く一般の方々にも研究成果を情報提供することを目的としたものです。

計7テーマ、約2時間半におよぶ講演の中、講演後の質疑や意見交換では、聴講者と講演者の間で積極的な質疑応答が行われたことから、改めて地震・津波に対する関心の高さを感じたところです。

この講演会を契機に、巨大地震・津波に対して今後どう向き合っていくべきか、更に深化して頂けることを期待します。